SPECIAL INTERVIEW

YOSHIKAZU YASUHIKO

PREFACE

「遂に念願適った!!」と云うのが我々の正直な実感でしょう. あのシャープで且つ繊細な絵を生みだす偉大なアニメーターを探る待望のこの一冊を慎んでお届けします. 最後まで じっくりとお読みください!

スペシャル・インタビュー

安彦 良和 氏

1980年 8月15日
西武新宿線沿線上
某駅下車.
レストラン「すかいらーく」にて.
14:00～16:00

——北海道から帰られたんですか？

いや．今年は行かなかったんです．こっちも涼しくってネ．フフフ…… 後で皺寄せがくると辛いから……

——AMのグランプリおめでとうございました！

あれ．2日ぐらい前にここで担当の人が来て．そういうのはもう止めた方がいいんじゃないかと言ったんですネ．何もやってないんです．何もやってない奴がなんで……普通だったらノミネートに出んですヨと言ったんだけど．

——で．シャアを描きおろされたとか……（AM vol.28参照）

あれはなんかそういう企画になっていたらしいんですねェ～．断われないし．ずっと前から一等賞にはイラスト付きっていうのがあったらしくてネ．でなかったら断わったと思うんだけども……

——今は何をやってらっしゃったんですか？

今やってたのは．例の「リュウ」の……

——「アリオン」!!

ええ．あれひと月おきに描かなきゃいけないんです．

——徳間の小説の進度は？

あれはもうとっくの昔に書いちゃったんです．あれは病院の中で書いたんです．

——ではもう完成原稿になってるわけですか？

ええ．なってるなァ……

——さし絵も全部？

いや．さし絵は描いてないんです．さし絵っていうか口絵がねェ．あのページ数に足りないということを言われたら二の句が継げない……だから口絵はたくさん描かないと……．迷ったんだけどねェ～．とにかく病院の中でもんもんとしてる時にネ．何かやらんと治まらん訳ですヨ．それで丁度あの頃富野さんがネ．ソノラマで文庫本出したでしょ．あれ持ってきて「読んでェ～」って．そんなの読んだら余計もんもんとしちゃってネ．俺は絵描けないけど字ぐらいなら書けるなァと変な気を起こしてネ．書いたという……大分迷ったんだけども結局．これはこれでやったことなんだからっていうことで……どうしようかなァ～．今でもなにかなァ～．「アレ止めようかなァ」って気があるんだけどネ．お医者さんに「何書いてる」って言われるとねェ～．

——もう完全によろしいんですか？お身体の方は……

うん．あの～多分……と思います．もう随分日がたつしネ．年内いっぱいぐらい通院するんだけど……

——まだ通ってらっしゃるんですか……

ええ．あの昔の病気なんですヨ．年寄りなんかがよく言う肋膜……肺病ですよネ．昔よくあの啄木なんかで……

結核の前段階みたいなもの……肺病で、だから時間だけやたらかかって悠長な病気で命に別状もなにもないんだけども

そういうことで、なんか大げさだけどね。 何ヶ月入院しました、1年通院なんていうと どうも大げさに聞こえていけないんだけど病気は、どうってことないんです。

——記録全集1にあった「八丈 志麻」さんっていうのは、富野さんの御注文ですか？

いや、違う、あれは最初……美人さんでしょ？ 八丈 志麻 さんって言った？ いや日本語の名前っていうのは僕、最初に止めろって言ったんです。だからあれは企画室が混乱してて勝手に名前付けたんじゃないのかな？ 僕、最初っからインターナショナルでなきゃいやだって言ったしね。 だから……唯あの中に居る……あれアメリカ人ですよ。金髪でしょ、たしか……なんで八丈 志麻なんて名前が付いたのかなァ？

あれはセイラっていう設定が、鮮明になる前のキャラクターで あれ描いて漠然とラインナップに入れといたんだけどもセイラっていう設定がああいう風に変わってくると当然、これじゃいかんなァということになって 僕の方からもそう思ったし……でセイラを別人に変えちゃって、アレ中途半端だったんですよね。 初稿のやつはね……で、セイラをああいう風にちょっと無機質にしちゃって、そうすると今度女性の方がスキンシップが乏しくなっちゃったから これも僕の方から言ったんだと思うなァ。あの へもう1人作りましょうよって……それで作ったのが、フラウ・ボウで……親しみのあるキャラクターが居なさ過ぎるからもう1人女の子をって……

——ハロのデザインは？

あれは大河原さん、あれ最高にいいと思う。僕あれだけはもう最高のデザインだと思う。 あれもなんか聞いたらガンダム用じゃなくて昔、作ったらしいですね。 それを流用した…… あれとザクは傑作ですね。

——ええ、ザクは!!!（3人同意！）

ホワイト・ベースはいけない。アレを一緒にしちゃ遺憾と思う！ あのホワイト・ベースっていうキャラクター、僕は好きでない。 残念ながらあれは迂闊だったんですねェ〜。 アレはガンダム用に設定したんじゃないんですよね。 なんか別な番組でデザインしたやつを、まだガンダムが目鼻つかないうちに「あ〜、いいじゃない、わりとユニークな型してるじゃない」で、やっちゃった。 それがそのままホワイト・ベースになっちゃって、格別 誰も文句つけないもんだから そのまま白く塗って出来あがり……

——有耶無耶に……

だけどアレ最初からガンダム……ああいうタッチだとしたら当然デザインは変更すべきだったと思うネ。だってあの型で大気圏突入なんてジョーダンじゃないと思うでしょ！（爆笑）もうちょっと理屈をなんとかつけられないかと……。だからあれは今から幾等言ったってあれだけはどうも合理が出来ないですネ。

ああいう事やっちゃいけないと思う。まァ楽屋裏の話ですけどォ。僕等も共犯だからなんにも言えないけど……スゴク無責任に決めちゃったんです。昔のボツになったの一杯出してきて、「どれか今だに出てきてないの、ユニークなのはないかなァと……「なんだこのスフィンクスみたいなの、いいじゃない」とか言ってネ。で、決めちゃった。

——富野さんも色紙にハロを描かれるようで……

富野さんハロしか描けないから、言っちゃ～なんだけどハハハ……（大爆笑の中チラチラと辺りを見回す安彦ん）本当にあの番組やってる頃からねェ～。クローバーは、どうしてハロを商品化せんのだろうって言ってねェ。アレ出来るでしょう！ええなにも複雑なメカいらんわけですョ。ゴミクズかごでもいいからねェ～。ただ丸い、で、パカッと口あいてチリガミ放り込んでもいい訳だし……ま、ちょっと複雑なもの作ろうと思ったらねェ～。ワンタッチでリモコンで、手足が伸びて目玉がチカチカぐらいならいくらでも出来ると思う。そりゃいいのになァ～。絶対売れると思うんだけどやらない。アレ絶対いいと思う。マスコットでもいいしねェ。ガラクタでもいい訳ですョ。そういう事をしないで商品が売れないから番組を切るなんてとんでもないっていうのが、いきどおりのタネでね。いつも僕等言ってたんだ。玩具屋さんにはなんかそういうポリシーが無いねェ。

——AMのサブキャラシリーズに描きおろされたシャアのピンナップ……眉間の傷のお話を……

あれは最初傷があったんですよネ。あのデザインの最初のやつに……あのシャアのキャラクターは滅茶苦茶と言うか……何もかも言っていいのかなァ？

——出来る事ならお聞きしたいですネ。

ものすごい無責任なキャラで……ウーン、あれ傷は……とにかく初稿で傷付けたんです。なんで傷付いたかというとあのマスクかぶっているでしょう。頑固に顔を隠す……。隠す理由がある筈。御出来がなァとか（笑）痣とか、面皰が酷いとか色々あるんじゃないか、普通に考えたら傷ぐらいあるんじゃないか……それもこう心理的に傷に繋がる何かがネ。眉間の傷ぐらい、いいんじゃないかなァって僕は勝手に付けたんだけど、それを局に持ってったら「傷があるのは嫌だって言うんですよネ。局の人が。

ま、僕、直接聞いてないけど取ってくれって言うらしい。で、あんまり……富野さんかなァ？
……持ってた人はあまりこだわらないでその場でOKしてきちゃったらしいんです。
「取りましょう…」と。で、帰ってきてから「取ってくれないか」と。「あったっていいじゃない、ハーロックみてごらんなさい。」と僕は抵抗したんだけど……ハーロックはこうでしょ。（顔に鰯骨ポーズをとる安彦さん）だからあのぐらいあったっていいじゃないかって言ったんだけど「とにかく了解してきたから取ってくれないと困る」……で、取ったんですよ。その経緯が僕は不愉快だったから勝手にピンナップかなんかの時に付けちゃった。「様ァ見ろ、付いてるだろ〜」と。（笑）描いたからこれは取れと言えないでしょ。印刷したものはね。やっぱり様ァ見ろですよ。そしたら後で富野さんが困っちゃってねェ。「アレ、困った事をしてくれた」と。僕はほんの茶目っ気の心算だったんだけど彼がね、真に受けちゃって「どうしよう人には聞かれるし、困った」と。で、最終回見てて僕はビックリしたんだけど、チャンバラの時にこうやったでしょ。（アムロがサーベルでシャアのバイザーを突くポーズ）最終回まで富野さんは気にしてたんだね。

——ですねェ、帳尻合わせる為に……

うん、帳尻合わせちゃった。アレはビックリしちゃって……いや〜こんなに気にしてたのか、悪いことしちゃったなァと思って……

——でもピンナップに描かれたのは、斜め十文字にでしたよね。

うん、最終回は突いただけだから……だけどあそこまで気にしてるとは思わなかった。見て おっ魂消てしまった。
ただ、あれはねェ、あの〜その前から言っちゃうとガンダムのキャラクターは全部ほとんどそうなんだけども、設定以前にキャラクターが出来ちゃったんだよね。シャアもそうでシャアの設定なんていうと物語から掘り起こしている以前にシャアのキャラクターって出来ちゃって……で、それなんで作ったかと言うと代理店の人かなァ〜、「今度は、美形にしてください」と言ったんですよ！「美形の元祖に向かって美形にしろとは生意気な」と、僕も阿保だから、そこで又、茶目っ気が涌いて、それで顔を隠しちゃったんですよ。顔を隠した美形で、それ持ってった人が聞かれたらしいのね。「顔出したらこれ美形なんでしょうね？」って念をおされたらしい……で、「美形ですよ、すごい美形です。今までにない美形です」って言ったらしいんです。「じゃあ結構です」って、スンナリOKに

なって、それからあの赤の着てるから「赤い彗星」なんてねェ、富野さんがうまく名前付けてくれたの。で、僕はずっとその話聞いてて様ァ見ろと思いながらネ。ずっとマスクつけておいてくれるものだと思ってたの。アレは取らないだろうと思ってネ。素顔もなにも考えないで「アレは美形ですョ」とか言ってたんだけども富野さんが#2話でチャッカリ取っちゃったんですよネ。「オイ、取っちゃったから顔作ってョ」って言うんですよネ。「え、そんなァ、早過ぎるよ」って言ってコンテみたら確かに取ってる。それもなんか念入りに2段階に分けてヘルメットを取ってマスクを外してやってるんですよネ。「マスクも取りなさい」なんて台詞もあるんで これは、どうしようもないなァなんて急遽作ったんです。だからそういう傷がどうのなんて手違いも起きちゃう。

——では初稿では、シャアの素顔は原案すらなかったと……

全然考えてないですネ。もうマスク被せて「様ァ見ろ、美形だョ。」とネ。

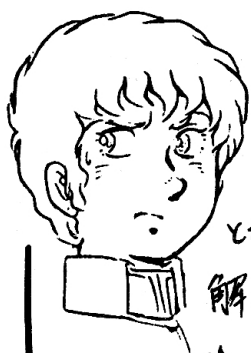
——では、あくまで#2話用にと……

#2話用に……俄作りだから妙に頬っぺたが丸過ぎるとかネ。色々あとから言われたけど「知らないよ」と……で、これも裏話なんだけどあのヘルメットあるでしょ。でマスクと……僕は一体のつもりだったんです。ああいうヘルメット、スポッと取れるつもりだったんです。で、#2話の時ヘルメットを取ったらマスクが残るんですよネ(笑)困っちゃったなァと思って……で、奇怪なデザインでしょ。アレ、ラグビーの

ヘッド・ギアみたいでネ。あれだって苦しまぎれですョ。台詞がそうなっているんですからネ。アレは全部まとめてヘルメットのつもりだったんです。ヘルメットとマスクという風に富野さんが解釈しちゃって……。あのマスク姿が#10話とかネ。あとで出てくるけど冷アセものですョ。酷いデザインなんだこれ。「なんだこのマスクは」ってぐらいで(笑)金属質であったりフニャフニャしてたりネ。シャアというキャラクターはもう自己矛盾の固まりじゃないですか。それが一等賞だっていうから笑っちゃった。

——ガンダムではどんなキャラがお好きで描き易いんですか?

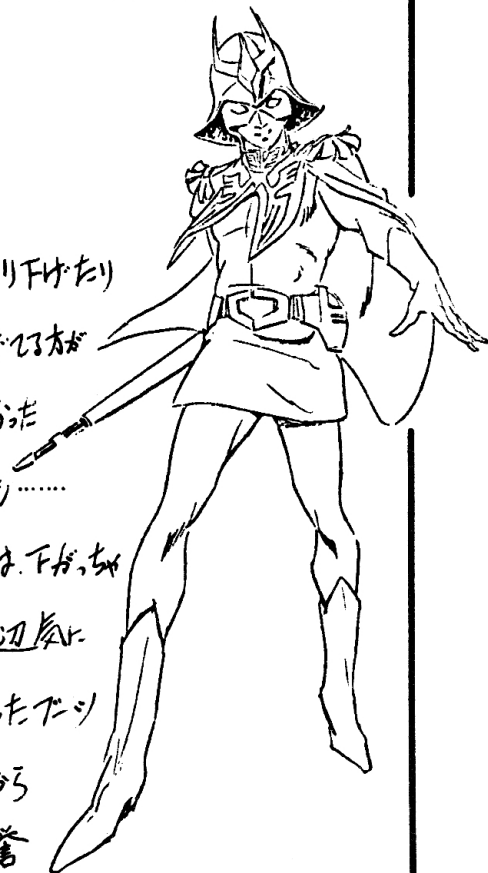
描き易いってのは全部同じなんだなァ……あの〜好きっていうとやっぱりあの*「テラ・ホーク」の主人公からずっと引き摺ってきたからアムロが一番好きですネ。あれはいつかキャラクター、ヒーローじゃないヒーローってのをやってみたいなァと思ってネ。で、アレは本当に幸運だったけども最初はちょっと富野プランの主人公と擦れ違いをした以外は、富野さんとイメージがピッタンコピッタンコいってしまってネ。じゃ15才にしようよ。

*幻の名作「宇宙要塞テラ・ホーク」に関しては総てオフ・レコにしてあります。

……あ、じゃあそれでいこうかっていう……あとはもう「性格はちょっと粘させようネ」とかネ、「目つき悪くしようネ」とか（笑）髪は癖っ毛だろうね。で、描いてきたら「それは何色だろう、赤だろうねェ」とかネ、あと全部ピッタリなんですヨ。で、富野氏がコンテで芝居つけるのをみても「あ〜本当に解ってるなァ」って感じで何時も感心させられたし……だからあんまり演出とこっちがスンナリいくってのは珍しいんじゃないかなァ。　予期せずしてわりと近い所考えてたみたいですネ、富野さんがもともと……だからそれが、絵が出来ちゃって「ア〜いってみよう」って感じで、むこうもふっきれたんじゃないかという……

——ブーツについて1つお聞きしておきたいのですけど、上向きになってたり下に切れ目が入っていたりするんですが、どちらが正しいんですか？　例えばシャアなんかで……

アレは水平なんですョ！

——水平なんですか!?

ええ、水平だけども水平にすると可変しいでしょ。長ぐつみたいで、だから勝手に上げたり下げたりするんだけど、あのどっちかっていうと前を上げた方がデザインとしてはいいと思うので、上げてる方が多い。でも正確に言ったらやっぱり上がってるのかなァ……。あんまり意識なかったんですネ。ええ、だから前が上がった方が描きいいと思います。誰が考えても……唯、ちょっとアングルによっては辛くなるから……と、いうんでそういう時には、下がっちゃうんです……じゃないかなァ？　唯、水平だと思いますョ。あんまりその辺気にしない……ずぼらなんです。　でもなんかあの後で、前が上がったブーツが、流行ってるんですってねェ。今、出てるんですってネ。だから「あなた先見の明がある」「デザイン的なセンスがいい」とか誉められてねェ。「アア、そうか」って……（笑）じゃあやっぱり上がってるって言うべきなのかなァ……あれはもう完全に長ぐつということだから……

——ではガンダムのキャラに関しては富野さんのラフ・スケッチというのは、まるでなしですか？

メイン・キャラについてはなしです。あのラフ・スケッチを描いたキャラクターっていうのはマ・クベが、そうですネ。本編に入ってからのマ・クベ、それからランバ・ラルとハモンの御夫婦、それからララァがそうですネと〜あとメインでは……そんなとこかなァ。あと……アレが居た、スレッガーが、なんか描いてくれたんだけどなんかカイみたいなキャラクターでね、これじゃあちょっとなァっていうんでそれ勝手に僕の方であぁいう図体のでかい男にしちゃった……それぐらいかなァ?!

——ロッキーのシルベスター・スタローン風の……

ええ、スタローンみたいな男がいいんじゃないっていうんで、こっちから出しちゃって……そうでないと
どうも他のキャラとダブル・イメージになっちゃいそうな気がするから。 だいたい富野スケッチを
大事に作ったっていうのは、マ・クベとララァとランバ・ラルの御夫婦ぐらい……あ、ランバ・ラルの
御夫妻はコンテだ。 コンテの感じが良かったんで、それからそのままあまりイメージを潰さないように
作りました。「あれは富野氏の理想の夫婦像じゃないかなァ」と。そんな感じがしたんで
「これはイメージ大事にしなくちゃ」と思ったんです。

——軽装宇宙服のヘルメットは単にカセッター式なんですか？

ええと、どうするんでしょ。色々あるんでしょうね。首の気密性って事でね。 唯、あのやってられないんですよ。
作画的に……ややこしい事は、それと首のあたりにゴタゴタ付くってのは絵的にも様にならないんです
よね。 NASAの宇宙服みたいになってくると……唯、ヤマトの宇宙服、アレでは……アレ、どうなってるんだろ？
(笑)「アレじゃ腭が透いてんじゃないかいな」どう風な事だけは、ないようにしたい。 だから首のあたり
が金属質でリングになっていて上からスポッとやったらリングとリングが上手に口調が合って……
ということだけは守ろう。 その他ネジで止めてとか気密性がどうの、ということはそれだけで100枚も
かかってしまうでしょ。(笑) だから罷めましょうという……用するにアレは中が密閉されたと思えばいい訳でしょ。
まァ、段々それじゃいけなくなってくるのかもしれないけども……あと本当に絵的な事を言うと所謂
あの頤とか襟とか首筋の線っていうのはあんまり隠したくないんですよね。 なんかあの人間の
上半身で一番貴重なラインですね。それを隠しちゃったら野暮な絵になっちゃうんじゃないかなァと。
無理を承知で……

——普通、人物を描かれる時、どこから描かれるんですか？ まず顔は？

だいたい目からじゃないですか。眉か目……

——全身の時は？

いや〜、足から描く人はいないんじゃないですか。 頭からやっぱり描くんじゃないかなァ……
全身でもやっぱり目から描くんじゃないですか。目が見えれば……

——マチルダさんは本当は長髪だったという記事を見かけますが、一応描かれたんですか？

いや、描かない！ アレは絶対に長髪じゃないっていうアレがあって、富野さん長髪が全体に好き
らしいんだけどね。 これはもう絶対違うと思ったからアッサリ短く……。鳳蘭さんがカッコ良か
ったとかなんとか言ってね。煙に巻いてしまって……そしたらむこうものってきて「じゃ短髪でいいョ」となった。
で、何故長髪でないかというのは下敷きに使ったハインラインの「宇宙の戦士」でも女性士官が

出てきますよね。　アレは剃っちゃってますよね。あのぐらいが本当なんだ……　だけどまさか剃った坊主頭も「スタートレック」じゃあるまいし……「本当なら剃るかもしれんよ」という所でね。納得してもらっちゃった。　長い頭でね。戦なんて……ありゃあ長髪ってのは間違ってます。

――ガンダムの女性キャラは比較的みんな短いですね。

ウン。やっぱり短くした方がいいです。　富野さんはどうも「優雅じゃない」って言うんでねェ。短いのはあんまり好きじゃないみたい。　まア、ちょっと世の中が騒騒しくなると長い髪の女の人はね。　男でもそうだけど国賊ものでね。　御前、切れっていう風になってくるでしょ。　アレも戦乱の時代なら同じロング・ヘアがウロチョロしてる訳じゃないという……

――メカは大河原さんの絵が、あがってくると作画の段階では安彦さんが描かれたんですか？

いや、あの〜描いたのもあるけども余裕がなくなって……最初は少し弄らしてもらおうかなんて思ったんだけど結果的には殆ど弄らないで……　唯、レギュラーのホワイト・ベースのお仲間とか省略化した部分があるんですけどね。キャラ・シートにするからクリンナップは僕がしちゃって……、その時点でちょっとしんどくて……、あとドムなんかのデザインは、すごくスリムなんだけど「これじゃ強そうにみえないョ」っでうんで太くしちゃって　そういうアレンジは部分的にはある……、とにかく余裕がなくてね。自分の持場を守るのに精一杯、それも守れないような時に他人のデザインにイチャモンつけてるなんて冗談じゃないんで……　ま、とにかくあんまり弄らなかったです。最初は色々やりたくてコンテにもイチャモンつけようかな、脚本も読もうかなと色々考えたんだけどなんにも出来ないで只管直し屋でした……それも途中でコケて……

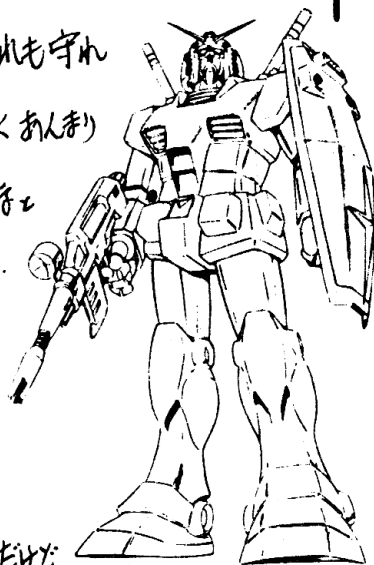
――で、もうアニメの新作に取りかかってらっしゃるんですか？

いや〜、やってないです！

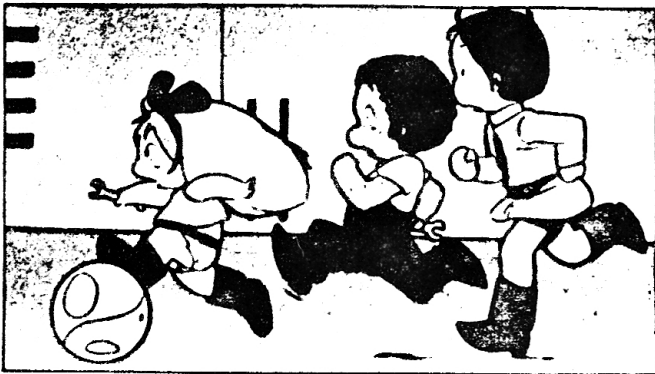
――仕事の依頼は、ないんですか？

依頼、と言うかサンライズは「そろそろやらないか」みたいな番組の打診をしてくるんだけどやりたくないんです。アハハ……，　番組を持つ決心がまだつかなくってね。　番組っていうのは中途半端にやっても結局あとになんにも残んないっていうのもあるしねェ。　のめりこむと際限なく……　唯、1月頃に、スペシャルが1本決まってるんです。サンライズで……。名作ものなんだよね。僕は名作ものやらない主義だったんだけど　それはあの勝手な事ばかり言っててもしょうがないんで協力するということでキャラクターを作るっていうことで、その作業はもう終わりました。　それだけですね。

――よろしければタイトルを……

いや、まだ駄目なんじゃないかな？　もう少し……　「アレ」って言うような名作ですから！　演出は、吉川惣司さんが

やってる……だから彼が色々おもしろくしてるんじゃないかなァ？　今、コンテきってるそうです。1時間半の枠で……スペシャルは随分昔から企画室の人なんかと「やりたいねェ、やりたいねェ」と言ってネ。スペシャルが今みたいに日常的になる前から出来れば草分けになりたいと思ってたんだけど……、スペシャルも最近安手になってきちゃったみたいねェ。こないだマリンスノーですか、ちょっと見たんだけどなんか……ねェ、のれなくて……スペシャルも駄目だなァ。なんか最近はスペシャルに幻想を持つのはいけないんじゃないかなァって気がしてるんです。

――では、そのスペシャルはキャラデザonlyですか？

だけの予定です。それとあとセーブしてるのは、ガンダムのクリンナップというかリメークがある筈なんで、それがなかったらとっくの昔になんかやってるかもしれないんだけど、アレ、リメークするっていうとちょっと大変ですからネ！

――映画用にですか？

ええ、それはやらなきゃいけないし映画にするんならやりたいって僕の方からもう最初から云っちゃったから結局アニメの仕事始めはそれになるんじゃないかと思うんですネ。秋頃から……富野氏がクソ忙しいので編集が出来ないんですよネ。だからズ～ッと延び延びになってるんだけど、もう2ヶ月……タイムアウトになってきちゃってるから秋頃から係んなきゃいけないんです。

――「クラッシャー・ジョウ」の挿絵を描かれた由来は？

アレは由来もなにもないんだけど、唯、高千穂遙の方から文庫本になるんで描いてくれっていうそれだけです。個人的に……

――絵柄に関しては全く安彦さんにお任せですか？　文のイメージで……

ええ、お任せですネ。イメージで……。段段あとの方になってきてから ぬえ もスタッフが増えたし、こっちも忙しくなったしでゲストのメカニックなんか作ってくれたり、あと資料はいつも探してくれますネ。僕はまるっきりオンチで資料平らな男でネ。資料って全然無頓着だから……むこうが資料好きでネ「ランドクルーザー？何だそれは？」とか言うもんだからランドクルーザーの本一冊持ってきてくれたり……そういうんで手伝ってくれる。

――七巻の挿絵は？

まだ全然描いてないんです。七巻では、今六巻でストップしているから……アレは高千穂遙が、春頃から酷いスランプに陥ってそれと何か長い書き

おろしを抱えて、それがもう二進も三進もいかないらしいんですよね。他社のやつで……、単行本らしいんだけども その御陰で皆、大騒りをくってクラッシャー・ジョウが一番惨憺たる状態になっている。

――― では、まだ原稿が上がっていない訳で……

ええ、上がってないです！ こないだSF大会があったでしょ。その時に高千穂 遙が最後の大会の終わりの挨拶で「まだ書いておりません！」って言ったから書いてないんじゃないですか？

――― 朝日ソノラマさんの方でも かなり延ばし延ばしになってるようで……

あそこまで予告うってねぇ～。出さないのは悪い事だと思うんだけど、とにかく作家が書けないんだからしょうがないですね。

――― 定期サイズのカレンダーがポスターになるというのは？

ポスター……？ いや、まだ聞いてないなァ。あんなのポスターにしたら偉い事じゃないかなァ？ 引き伸ばしてそれでなくても下手くそなのに……、小さくすると幾等下手な絵でも見れるなァ～と……

――― よくイラスト・ボードをお使いになりますね。

ええ、アレは水気を含んでも曲らないから……

――― 「交響詩ガンダム」用に描きおろされたポスターのボードの下地は何色なんですか？

ああ、アレは真面目にベタで塗ったんじゃないかなァ～ 白だと思いますョ！ いや、こないだチラッとサンライズで見たけど アレは塗ったんです、確か…… そうそう いつも下地をチョロマカしちゃいけないでしょ。たまには塗らなきゃ……

――― ポスター等は何日ぐらいでお描きになるんですか？

前はたいがい一日で描いたんだけど今はちょっと遅くなって二日、足掛け二日ぐらいかな。翌日に持越しちゃう……と、言うのはもう時間がなくて現場の時間をくすねてね。進行・制作の人に嘘ついて何も言わないで……昼頃TELが来て、「どうしたんですか？」「いや、ちょっと具合が悪くて―」（笑）とか言って、そういう時間で描く訳なんです。だからもう一日が限界でね。それ以上ダラダラやってられない！ だから殆ど今まで一日で描くようにしてきたんですが、最近はダレちゃって……やっぱり時間的に余裕が出るとダレるんですよね。丸々二日掛るようになったり……

――― サンライズ発行の「ガンダム記録全集」の三巻にある「ガンダム・フォトアルバム」などは、何日ぐらいで……

アレは小さい絵でしょ！ アレは早いです。もうちょっと大きいですけど…… アレは困っちゃって、「カラーページを何ページか

空けといた」と言われたけど何を描きゃいいのかということでね。困って困ってそれであぁいう風な事を……あんまり目白しい事したくないんですよね。ハッキリ言って！だからなんとなく本編の気分でやりたいなァって事でね。ま、それに合ってるかどうかわかんないけど ガンダムっていうのは 止メにしても絵描くの辛いんですよね。なんかこう理屈がないといけないような気がしてね。例えば カッコつけた。そしたら「どうしてこの人 カッコつけたんだろうな？」という。シャアなんかにしてもね。何やってるのかなァ？ 普通のヒーロー そんな何やってるかなんて……ヒーローはカッコつけるのが当り前でしょ。だけどガンダムってのはそうじゃなくていちいち理屈が要るようでね。まァ ふと振り向いたら、振り向いたのかな？っていうようにちょっと声掛けられたとか誰か写真を撮ろうとしたとかね。だからそれがいちいち引っ掛かってくるから最近ちょっとガンダムの絵は描けないなァって感じ！

――劇場版の場合は原画の修正という訳ですか……

ウ～ン。そのつもりなんだけど、どのくらい出来るか……それとあの迷いもあるんですけどね。今だに……。直すっていうのは果していい事なのかしらっていうのが……。例えばあの今度のグランプリですか？ アレなんか見ても最終回なんてのは人気投票で言うと一番いいんですよね。#43話ですか……一番いいし、実際良かった良かったと……

唯、僕はやっぱり作画の当時者の意識があるからアレじゃいけないと思うんですよ。絶対にいけないっていうのがある!! 唯、僕がそう思うのは偶偶僕が当時者で、僕がチョット違ったタッチで絵を描くからなんで「見てる人はアレでもいいのかな？」と思ったりする。いいんだったらなんで直す必要があるんだろう。描いてくれた人にも……

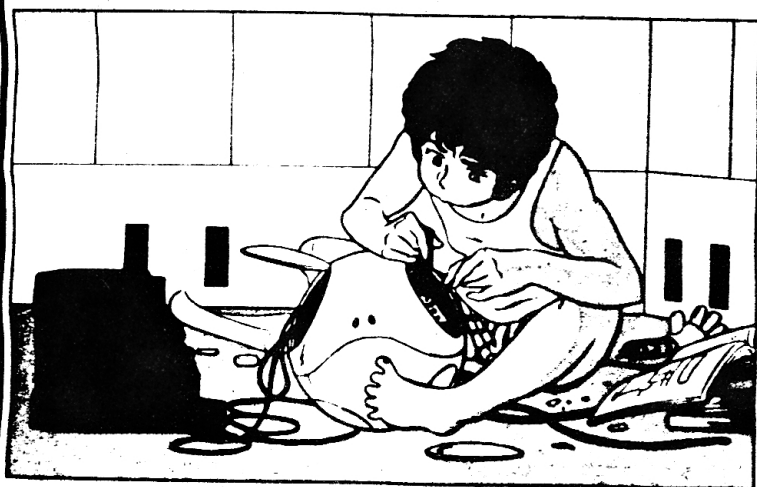
（そう思わないのもここに居るんですけど……!!!）

あと描いてくれた人がみんな知ってる人で僕がやってる時分から色々力になってくれた人達で、それを今から直すって事は「御前さんの絵は駄目だ！」って言うようなもんでね。その辺のアレもあるんですけどね。唯「直したいんだァ～！」って言ったら富野さんも「それは直してくれ！」って言ったし 今のところサンライズの方でも全部とは言わないまでも直すのはいいという事になってるから出来る限りで直そうと思ってるんだけど直して「かえって悪くなった！」と言われりゃそりゃ僕の責任です。唯、あの悪いんですよね。あんまり聞かないんだけど やっぱりありますか？ あれじゃまずいって言うような事……

（この近辺では大分あるんです……相当に………）

僕の耳にあまり入らないんで逆にアレでいいものを何も……って言う事があるてね。

（こちらにはどんどん入ってきますが……）

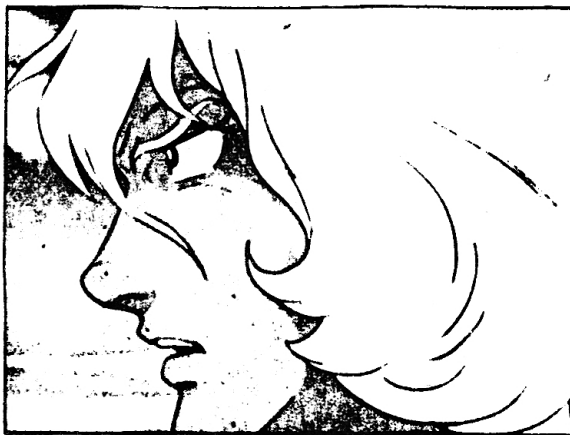
ウ〜ン。あのアニメーションの場合には絵の上手下手じゃなくってなんかあの一種の「表現の壺」っていうとおかしいけどやっぱりアニメ独特の領域があるみたいですね。で、それは人によって違うんだろうけど僕もやっぱり「僕はこだわるんだ！」っていう部分があって作監なんかやるとそういう自分のこだわりっていう事には割とこだわると言っちゃおかしいが、譲れない！　意固地になる。という……。それはあの富野氏みたいな非常に特徴的な話作り、演出やる人の場合だと余計あるんじゃないかと思うんですね。こういう風に描いてやらないと……例えばこの絵一枚でも全然真意がわからないっていう風なね。それはあの仕事しながらもよく会って打合わせの時にくどくど僕の方から言ったり、僕の担当作監じゃないんだけども「そのシーンだけ回してくれ！」と言ったりした事があるんだけど……それはあのその辺のニュアンスがすごく大きいね。富野氏の作品は……だから例えば酷いメハビリクがあったりするね。こういう台詞をどうやって聞かせようかっていうことを一生懸命考えてやらないと唯、退屈させちゃうシラケさせちゃう……。だけどそういう台詞の裏を読むみたいな訓練、訓練って言うとおかしいけどそういう習慣はどうも普通のアニメーター、一般のアニメーターの人には無いみたいな気がする……そりゃTVアニメってのは割と企業的に処理出来るんで、そうやってきてるからなんだろうね。だから時々「ア〜いい台詞だなァ！」「ア〜傑作だな！」ってのがね、割とスラッと描かれたりしててね。気がつかんですョ!!　だから病院に居る時も何編か……全部は見てないんです。だから後は僕、どういう風に終わってるかわからないんだけど

……あの〜見たかった!!　でもあるんですよね。やっぱりそういうのが……これじゃあ何やってるかわかんないなァっていう風な芝居が……これは、すごく大事な伏線出してる筈なんだけど映像的には何にも残んないですね。……って言うのは、やっぱり絵がいい、悪いじゃなくてなんとかしたい!!　機会があれば……そういう風な部分、沢山あるんですね。例えば僕がやってた中にもあるしね。今見てみると「なんじゃこれは？」というのがあるしね。その辺は最終的にはみんな寛容になってくれるんじゃないかなァと思うけどね。まァ病気という事もあるから鷹揚にみてくれるんじゃないかなァと……

――― やはり#2話のシャアと最終回のシャアは違うというか……

それは#2話が醜い男だからだョ！

（い～え～!! 又、そういう事を……）

アレはハイマンナンを使ったらいいとか色々酷い事を言われたけど、ハハ

それとあの再編集でもう一回高い映画館の入場料を払って人に見てもらうっていうことは……単なる繋ぎ合わせだったら今は本当に好きな人はビデオで自分で編集やって見てる訳です。上映会でも済むんですョ。それをなんで1,000いくらの入場料払って見てもらう理由があるのかっていうネ。そういう理由付けもしたかった……これは単純再編集じゃない手直しが入ってるし映像的には多少良くなってますョっていう事があればネ、大威張りで見てもらえるんじゃないかと……

唯、あの～富野氏なんかやサンライズの人にも言ってるんだけども、「そうやったにしてもやはりこれは再編集だ！」って言うネ。「そこの一線だけはあの～宣伝の上でも何の上でも崩さないようにしようョ」っていう。「別ものじゃないんだ！」という。だからやっぱり申し訳ありませんが焼き直しでございますっていう風な姿勢で見てもらいたいということ。

――― では描き足しなども？

ええ、当然出てくると思いますネ。全く新しいシーン作るかもしれないし……それは富野氏が凝りっぽい人だからいざとなったらとてつもなくやり直すかもしれないですネ。それは逆に、そこまでいったらたずなを締めなければ……と思ってるんです。

――― まァ、その辺の部分を富野さんが出す小説ガンダムの二巻目に書かれるかも……

ウ～ン、何、書いてるのかねェ？　あんまり先走った事を書かないで欲しいとは言ったんだけど……

――― その二巻目の挿絵の依来は？

え、あのちょっとソノラマから来たけども、アレはやらないっていうことで、最初にやってくれた青鉢さんでいく筈です。あれはフィルムとは違うし、アレはアレで……で、あの～富野氏に言っちゃ～なんだけど僕は小説ガンダム好きじゃないしネ。あの～どうしてかなァ。僕はフィルムの方がずっといいと思うなァ。フィルムの方で「ああいいなァ、これが富野の味だなァ」と思ったもんなァ！　あれは枚数の制限やなんか残酷な条件もあるんだけど小説では全部おちてる感じがしてねェ。ちょっとガッカリしちゃったなァ。もともと300～400枚でガンダム書けっていうのは、おかしな話ですネ。それは僕も言ってるんです。「最初っから2冊も書かしてくれるんだったらどうして800枚ぐらいくれなかったんだ！」っていうような事をネ。そりゃ本当にそうだと思う……参るんだよネ。1冊目出して売れたからもう1冊出すみたいな書かせ方ってのはネ。

――― 話は突然変わりますが、「ライディーン」の神宮寺は、最初全く髪の設定がなかったとか……

アレはなかったですねェ。全くない！……ユル・ブリンナーみたいな頭がいいんじゃないかっていって……唯、とにかく頭とハゲとか傷とか あとは黒人の皮膚の色ですか、それとか まァモチロン不具者はいけないっていうんです。 とにかく そういうコードの自主規制っていうのは、すごいんですネ。昔っから…… 今もそうですねェ、なんでだろうね……と、ツルツルっていったって映画じゃ出てくるのにねェ。 だからマンガとかアニメとかいうものに関しては特に強いみたいですね。特に強いのは何故かっていうとやっぱりマンガってのは、とかく グロにおちいり易いってのが、あるのかもしれないけど もう一つは規制している人達が あの～大変 言っちゃあなんだけど事勿れ主義のサラリーマンの方が多いからだと思いますネ。あの人達にしてみたら規制するぐらいが主な仕事で あとないんだもん。 言っちゃあなんだけど…… あとは唯、お給料を貰ってねェ。 年季が入ったら出世して窓ぎわに座って終わりでしょ。そういう連中が やっぱり沢山居るから規制話なんかが出てくる。

―――安彦さんのお兄さんは「あびこ」と読まれているとか…… それは？

ウン、改名っていうか呼び名を変えたそうで「やすひこ」と云うのは誤解が多くて煩わしいっていうんで……一一断らなきゃいけない、「やすひこ」って言うと名前の方と間違えられるそうでネ。 名字を言ってくださいって云われる……気の短い人なら怒りだすらしいョ。 それでこれは名字でって云うのがもう煩わしいから「アビコ」に変えたとアニキが僕に言ってきました。 僕はなんかその煩わしさが却って愛着が出てきましてネ。（笑） ま、これで死ぬまでつきあって……子供が可哀相だけどね、つきあってやれともう居直って この呼び方で……

―――正式には「ヤスヒコ」さんで……

あの～先祖を辿ると「アビコ」と云っていたらしいんです。それが三代ぐらい前か二代前か手違いから「ヤスヒコ」になっちゃったらしいんです。 だから「アビコ」に戻すというのは、あの……悪くないんです。「アビコ」という風に変えると東京都には何十人も居るんですョ。 何十人いやもっと居るかなァ？ ずいぶん居るんです。「ヤスヒコ」って云うと東京都の電話帳でずっと前知ったんだけど2人しか居なかった！ 僕を入れてネ。 僕が東京都に居た時分だから僕以外にもう一人しか居なかった…… 今は知らないけど、下町の方でネ、居ました、江東区か足立区かで…… きっとその人も先祖が阿呆やって間違えたんじゃないかなと……（笑） ま、覚えが芽出度くていいですョ。 変な名前って云うのはネ。 一回聞いたら直ぐ覚えてくれる。

―――「アリオン」はペン入れしてないのではないですか？ それから枠線について……

アレは筆です。枠線はペンでフリーハンドですね。ただ下絵は定規で引いちゃうからそれをなぞって……。九割ぐらい筆で済んじゃうなァ～！

——輪郭線が総て筆ですか？

ええ。それは全部筆です。と、タッチみたいなやつがちょっとペン使うぐらい……あの～ペン駄目なんです。エンピツで始終仕事してるでしょ。ペンっていうのはカリカリカリって感触からしてアレだしね。全然描けないですね。それと枠線の恐怖におちいるんです。フリーハンドでフニャフニャってやってるのもアレをサッと引いちゃうとね。枠線恐怖症……アニメの動画用紙ってこんなんでしょ。枠線なんか引いてないです。それに好き勝手に描いてるとね。こう切られるとね。あ～この中へ描かなきゃいけないんだというのがすごくある。で、あの徳間になんか描けって言われて……それ悩んじゃってね。枠どりのないものをよっぽど描こうかなって思ったんだけど　そうすると変な絵物語にしかならないんだよね。絵物語っていうのはやっぱりどっちつかずだし　どうしようって悩んだあげく　あのフリーハンドでね。でなるべく切らないで横にスパスパと切ってしまう……横に切っちゃうと一種のシネスコになるんですね。縦の締付けがないから割とみてて楽だし描いても楽だし。だからそういう所でなんとか凌いじゃってる。不思議なもので　あんまり気にならない!! 線があるってあまり気にならない！……アレはいい工夫だったなァと思って。

——クラッシャーやダーティも総て筆なんですか？

いや。クラッシャーは、エンピツで描いてそれをコピーして使ってる。やっぱり絵を描いてくれって言われた時に印刷する絵はペンで描かなきゃいけないから描けないって断わったんです。高千穂さんに……そしたら「そんな事、言ってなくていいんだ。今はコピーという便利なものがある。自分の所でいいコピー機械を買うから、それでコピーするからエンピツでいい」って言うんですね。それで断われなくなっちゃった（笑）「エンピツの絵ならいつも描いてるじゃないか。」それでのせられちゃって……筆で描いたのもあるんじゃないかなァ。他にもダーティなんか筆も使ってます！　今は筆の方が好きになっちゃってねェ。なんかマンガ家さんの中でも筆が流行りつつあるとか……萩尾望都さんなんかが筆で時々お描きになる……そうなってくると俺は筆の草分けになるのかどう……何人も居るんでしょ。筆で描いてる人。筆っていうのはもっと使われて

いいんじゃないかと思うのネ. それとあのベタがいらないんですよネ. 枠とってベタっていうとネ.

なんかこう気詰まりだけど筆だと気分であとベタが潰れてしまう. 髪の毛なんかもすごく早い

……アシスタントがいらなくなるということで. 筆をお薦めしようかなァと……

――「アリオン」は. まるっきり御一人で……

一人です. 時々うちのカミさんが消しゴムで消して……うちのカミさん絵を描けないんですよネ. ま. 時々単純ベタとかネ 消しゴム・トーン貼りをちょっととか手伝ってくれる……

――トーンの使い方すごいですネ.

アレもやっぱりアニメの影響だと思うんだけど色で表現するでしょ. 白黒って云うとやっぱり不安になっちゃうんですよネ. 夜になったら いや～全体のトーンとしたいとかネ. かと云って今の劇画家さんがやってる点. 描とか 書網とか云う複雑なものは描けんのですョ. それの為にアシスタントさん呼んで検討してるし……と云うことで結局トーンになっちゃうんです. 「トーンって便利だ」って思うんだけど なんかあんまりトーンを使わないみたいネ. 模様としてはよく使うけどネ. なんか偶にマンガ見てもあんまりトーンをああいう風につまりトーンとして使うって云うのは ないんだよネ. 何故だろうって……, アレは不思議だなァ. じゃどうなのかなァと思うんだけど. こっちは元元素人だからじゃどーでも構わんと……思ってネ.

――「リュウ vol. 7」は64ページとかなりありますネ.

アレは偶偶他にその月仕事がない時があって一ヶ月かかったら5～60枚描けるんじゃないかなァと思って描いて……. あのあとを今. やってます. 唯. アレは隔月だからいいですネ. 今ぐらいのペースだと……けど本職が忙しくなったら困るなァと思う! 早く終わりたいんだけども予定を超えてしまった. 唯. マラソン連載なんては出来ないから何枚ぐらいで終わりますっていうのは通告してるんですけどネ.

――タイトルロゴ……あの「アリオン」って特種な文字も安彦さん御自身で……

ええ. だってアレはレタリングじゃないから……僕知らなかったんだけどマンガのタイトルって云うのは アニメと同じタイトル屋さんが居るんだそうですネ.

(ええ!)

こないだ聞いて「エエヘッ!?」って言ったんだなァ. アレはマンガ家さんがレタリングするんだと思って……

(しっかり タイトル部分は空けときます. それで専門の方が……)

それも知らなかったし. もう一つ我ながら阿呆かいなと思ったのは「アリオン」っていうと5回やってるから4回目までは毎回原稿に「アリオン」っていうロゴ描いてたんですョ. (笑) 書きながら いや俺これ一回書いたん

だからそれを写してもらえればいいんだから書く必要ないんじゃないかなァと思いながらネ毎回書いてたんです。透視してネ……で、4回目書いたあとで編集の人に「ひょっとしてこれ書かないでもいいんじゃない？」って言ったら「いいですョ」ってこう（爆笑）云ってくれればいいのに……。それで5回目のやつは空けておくことにして……

――― vol.1〜5までは重ねてみると微妙に違うわけですネ。

違うんです。馬鹿みたい……そこまでは想像が出来たんだけどタイトル屋さんが居るってのは知らなかったね。

（竹宮さんらも昔は自分でタイトルも書かれていたそうですけどネ）

昔からの人はそうじゃないですか。手塚調とか横山調とかみんなあったもんネ。だからこのころの感覚でねェ。今でもそうだと思ってた。最近の決定ってるでしょ。だから最近の人はレタリングが上手なんだなァと思ってたの……。この原稿はこんな感じだからとむこうでやってくれる。

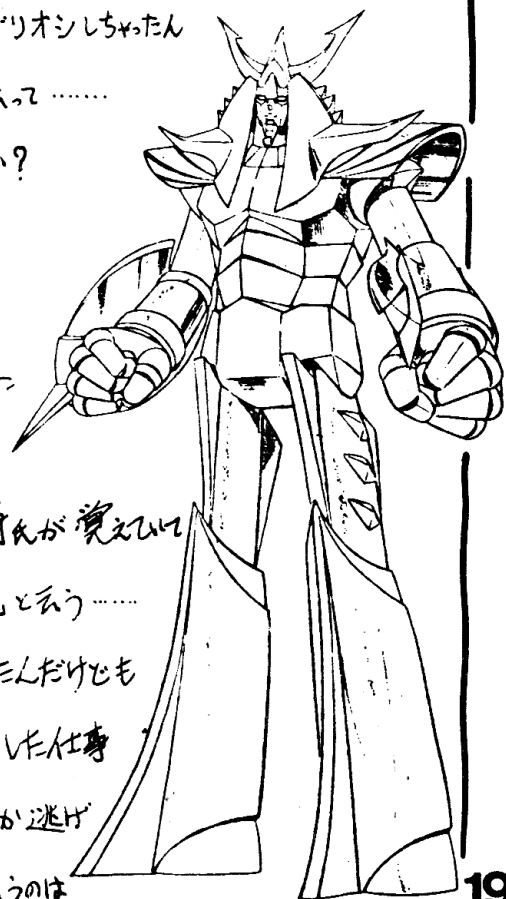
――― ライディーンは最初、緑一色だったとか……

最初は金色だったんです。金色は出ないと云うんで緑にしたんだな。で、緑作ってソリッド・モデルに塗ってみたら気持ち悪い……。ロボット・カラーというのも色々あるけど今だに正義カラーから抜け出てないでしょ。ガンダムのあの色でも随分抵抗あったんです。アレは僕の方で塗っちゃって……「色指定に任せておいたら偉い事になる」と思って僕の方で。唯、要素は正義カラーですネ。赤・青・黄・白、その配分でチョット変わった……アレすごくメーカーの方で否がったんだけどそれでも大丈夫と云ってネ。ゴリオシしちゃったんです。そのぐらいのことしないとねェ。「制作意欲涌かないじゃない」と云って……

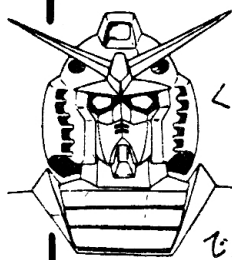
――― 「ヤマト2」のシリーズ構成っていうのはどんな事をやられたんですか？

シリーズ構成ってタイトルには出てなかったですネ。何で聞いたんですか？

（AMの安彦さんの特集で……）

ああ、自分で言ったんだ。アレは……何やってたんだろうと思うけど要するにシリーズの構成者です。「さらば〜」の時にはかなり最初から絡んでたから大分内容的に口出してコンテが終わってからその辺の事を西崎氏が覚えていて「おまえは内容を良く知っているからTVシリーズの構成をやってくれんか？」と云う……で、その時にはもう僕は映画終わった時点で「ヤマト」から抜けたかったんだけどもなかなか放してくれないんですネ。あの人がしつこくって……。それで、ま、たいした仕事じゃないだろうと思って……で、これをやったら放してくれるだろうと云うネ。なんか逃げ口上の意味もあってやったんです。たいした仕事じゃないだろうと……と云うのは

もう映画で大基は出来てるんだから それを26本に再配分して足りないところに新しい話とか新しいエピソードを入れてやっていけばいいんだから「アーたいした事ねェや!」と思ったんです。
で、とにかく実際たいした事なかったんだけども イチャモンばかり多くて……で、それでも足が抜けなくて 結局そのあとのテレフィーチャーですか。 アレまでやらされてネ。 アレで最終的にあの足を抜かしてもらったんだけど……アレがなかったらガンダムにもうちょっと傾注できたんだけど……コンテのみですが、アレは本当に辛かったなァ。 ガンダムの調度忙しい時に重なってたからネ

———最初はかなりサンライズで籠りっきりで描かれていたとか……長浜さんがおっしゃってましたが。
いや、籠りっきりって普通そうですョ。 本当はそうなんだけど………。作監なんては、そういうもんなんですよネ。籠りっきりでなきゃ……唯、もうガンダムやる時にはシリーズ構成だとか絵コンテだとか何か自分でも訳のわかんないような事を随分長くやっちゃって、そろそろ本来の仕事に戻らないと もう本当に訳がわかんなくなるなって焦りがあってネ。 だからガンダムは何をおいても作監は真面目にやろうと思った。 他に煩わしい事がなかったらもうちょっと手も行届いただろうし 病気もせんかったんじゃないかと思うんですがネ。 積もり積もって……

———一度ライディーンF・C会誌「ムートロン」に描きおろしを描かれましたネ。
アレは杉山さんって云う会長さんが居て……なんたって一番古かったんですョ。 で、「なんかやってくれないか、なんかやってくれないか」って かなりしつこく迫られて。 それでなんか会長さんがガッチリしてるのか会計で黒字が出たらしいんですよネ。 で、その黒字の還元方法もあって是非というんで描いたんで。全くの例外です。 だから非売品の筈ですョ。 それが条件で売ってくれちゃ困ると云って……
———あとにも先にもアレだけで……
アレだけです。 一枚っきりネ。 僕つきあいが悪くって……
———こういったインタビューは、よくお受けになるんですか?
いや! 尾形さんがなんかネ。 アニメージュ・ミーティングの話は聞きました。 なんで福島でやったかと云うと奴等の会があって、これが並の会ではないので……で、やったんだそう。 そういう奴だから会ってくれって……! あと広島のF・Cがネ。そこの人も紹介されて今回、大阪で会いました。行った時に…… だから尾形さんが口聞いたのはあなた方が2回目です。
(かなり光栄の至りで……!!)

ここまで来てくれる。こっちの方が光栄で……

——お宅の方はサンライズの沿線上にあわせてこちらにもってきたんですか？

最初は成行きで知らないで西武沿線に住んでしまった。アニメーターになる以前に……で、気がついたらマンガとアニメの巣だった。で、これはなんかのお導きであろうかと……。西武はローカル線だなァと思ったの最初。でも中央線とかネ。そういうシャレた所には住めそうもないし……と。ヒロセっていう駅が所沢のもうちょっと東京都に入った所にあるんだけどその近くに住んだのが最初ネ。あとずっともう西武線以外には住めないですネ。

——もうかなりお古いんですか？

10年前です。上京してきたのは……

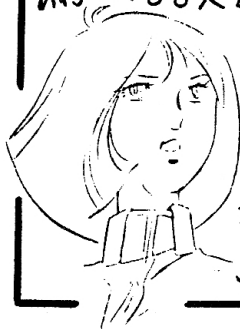
——原画は総てサンライズでお描きになるんですか？自宅でも描かれるんですか？

ガンダムの時はずっと仕事は総てサンライズで。ポスターだとかイラストだとか所謂私的なものは家で描いてます。今はもう殆ど家でアニメやってます。それとアニメやりだしても家でやろうかなァ～っていう感じです。
どうしてもやっぱり仕事……タフな人ばっかりでネ。そういう人に左右されると我を忘れてしまうから。本当にみんな身体丈夫だなァと感心しました。僕だけが無理してたんだろうネ。何も言わないんだけどみんな無理してるのになんで俺だけ病気するんだろう。

——ガンダムの映画化後にやってみたいなと思うものは？

やってみたいものは沢山あるんですよネ。前にそれこそ企画書を書いて空振りしたやつなんかでも今だにやりたいなってやつがあるし。色々ニュアンス変えたり作り変えたりしながらあの素材はまだやりたいなってのは沢山あるし。やりたくないもの言った方が早い程。やりたいものが沢山ある。ただアニメってのはしんどいですネ。自分で例えばアリオンなんか描いてるとつくづく思うんだけどアレなんか自分でネ。好きなようにやりゃあそれでいい訳でしょ。ちょっとハードでも一生懸命やればネ。アニメだけはそうじゃなくていろんな思惑が入ってきたりいろんな調子を合わせなきゃいかんっ。あっちこっちに気を遣わなきゃいかんっ。仕事のペースも自分だけで勝手な事は言えないわで。それは本当に大変だなァと思う。なんか下手するとあっちこっちで人を傷つけるようなことにもなるしネ。

——「ギド」は生きているんですか？

あ、あれは又出します。どこで出そうかと思って……でもそんな長いお話じゃないからもうそろそろ出さなきゃいけない……唯、あのよくマンガ描いてみてアニメとどっちが好きだというような事を云われるんだけど完全に比較は出来ないんだけど

やっぱり手応えって云う事で言うとアニメの方が有りますネ。画面になった時に「ア〜やれやれ」って云う感じがネ。やっぱり印刷になったもの見るのも嬉しいけども、画面って云うのはそれだけ煩わしいものを経てるだけにネ。あ〜良かったなァ〜って云う……

——#24話で初めてアムロの瞳に閃光が走りましたネ。アレは富野さんの指示ですか？

ウン、そう！アレは、なんか光ると言われて……段段稲妻みたいになっちゃってネ。だから光ったか光んないか分かんない位のほんの数コマのタイミングだったと思うんだけどネ。#24話辺り……。目から光が出たらニュータイプかって勘違いされちゃうからネ。唯、あの〜これはオフレコでもいいんだけどニュータイプってのは、いろんなとられ方があるんだけど僕は絵描きだからと云う事であんまり聞かれもせんし言いもしないんだけど、あの〜自分自身の感性で言うとあの〜所謂エスパー的なニュータイプ、所謂新人類みたいなもの僕、信じない主義なんです！だけどガンダムってのは好きだしニュータイプって設定もいいじゃないかと思う！それはあの僕は個人的には「ニュータイプってのは世代だ、ジェネレーションだ!!」って云う風に受けとめてる。で、此の間富野さんとそう云う話をちょっとして……した事なかったんですよネ。なんとなく了解しあってて……。で、「俺は最初からジェネレーションだって思ってたけどそう思っちゃいけないかい？」って富野さんに聞いたら「嫌、それでいいんだよ！」って彼が言ってた。で、ガンダムにはそう云う感じがあったと思うんだよネ。例えば魔女と同じですヨ。魔女って云うのは……ある歴史の例えば魔女が出てくる。そりゃ客観的に魔女が居たか居ないか魔女的能力があったかないかと云う事は措いといてもネ。そう云う現象ってのは説明出来ると思うんですよネ。で、客観的な暗示もある訳だし逆に大衆の側から今こそ魔女に登場して貰いたいって渇仰が出てくると云うのも分かる訳。だからそう云う現象ってのは未来的にも有って然るべきだし、それがニュータイプって呼ばれてもいい！特にああいう時代なら出てくるだろうと……。で、彼らに果たして目が光ったり予知能力が有ったり運動神経がどうのこうのみたいなそう云う並じゃない能力が有ったか無かったかって云う事は見た人の勝手でいいじゃないかってのが僕のアレでネ。唯、そういう意味でラスト・シーンを富野さんの筋書きで見て、その時に了解したんだけども その時に子供なんかが「アムロの声が聞こえる！」フラウ・ボゥなんかにも聞こえるとか……で、結局みんなパーッと寄り集まるんですよネ。あそこの筋書きでみた時に「あ〜これはつまりみんなニュータイプだったんだなァ」っていう風に僕は了解した訳。みんなニュータイプだったって事は誰もニュータイプなんて居なかったんじゃないかって僕は了解してる訳。それは僕の了解で今だにそれは変わらない！だからガンダムの作劇で後半の方にシャリア・ブルとか色々出てきて「光る宇宙」辺りの感応のし方なんかにしてもなんか客観的にニュータイプってのを説明し過ぎてるって云う気があってその辺逆に富野さんに対してクレームを

つけたかった！ そりゃそういうものを「本当に信じたい」或いは「いいなぁって「その中にこそドラマがある」って思う人は思ってもいい人だけども俺みたいにそうじゃないのも居るんだ。そうじゃなくても尚且つガンダムって云うのはテーマ的に好きだって思うのはガンダムのニュータイプってのは、それぐらい包容力があるものだと思ってたからいいんで。だから小説なんかにしてもあんまり説明せんでくれって云ったんですよね。説明すると馬鹿に落ちちゃって却って馬鹿らしくなってしまう！ で、アニメージュなんかでアンケートなんかとると色々あの部外者でね。光瀬龍さんみたいにね。真面目に反応してくる人が居る。「ありゃ差別意識の裏返しだ！」とか。そういう話が絶対出てくる訳です。僕だってそう思う!! だけどそう云う人だって、いや、もうちょっと緩やかに考えてくれないかっていう風な事ならね。呑み込んでいける筈だ。包みこんでいける筈だ！と云う。そうでなかったら僕だって馬鹿らしい。だからニュータイプの話が出てきたら、僕はもう一貫して最初からそうなんだけど……だから目が光るなんて時もこれは視覚的に光って見えればいいんであってね。客観的に稲妻型のものがピカピカなんて出ちゃ不味いって云うのがあってね。だから#34話以降やってないけども、やっていたとしたら随所にそういう僕なりの中和のし方ってものをしてきたかったんだけども。だから映画のリメークの時にもあまりにも過度にアレしている所は、そういう意味でも押さえたいと思います。「エスパーじゃないんだ」って云う。客観的なエスパーを肯定したとか否定したとか歴史はエスパーによって作られたとか作られないとかそう云うことじゃないと思います。だからそれは100%否定しなくてもいいんじゃないかと思うんです。「見えないものが見える！感じないものが感じる！」っていうね。それは個体差かもしれないし、ある種の突然変異かもしれない。唯、僕等が絶対否定するって云うのは、ある時点にタイプの違った別な種ってものが出てきて、それが世の中変えるとかある種がある種にとって変わるとかいう事が自然に起こりうる事絶対にないってのが、僕の常識感ですよね。それは何十万年って云うサイクルとか少なくても何万年ってサイクルをとった場合にはあるかもしれないけど そんな事はない筈なんです。唯、あの「2001年～」なんて映画ね。僕、思春期には見逃しているけど去年か一昨年何かで見たんだけど、ついていける部分といけない部分って云うのがあるんですよね。だから「2001年～」の後半なんてのは、僕は見ても分からない!! わからないし説明受けてもそんなものナンセンスって云っちゃう……割りとその辺散文的に出来てて駄目なんです。だから「地球へ」って竹宮さんのやつ……アレ見た時なんかも、アレはもうそういう部分では有無を言わせない写る、その所にドラマ作っちゃってるんですよね。「ミュウ」ってのはね!!

――マンガの方ですか？

嫌、僕はマンガの方は見てない！　映画の方！　アレはとにかくミュウの存在……客観的な魔女ですよね。だからアレはアレで「ウン！なるほどこれはこれでいいや」と思うんだけど僕は好きになれないと云うか、夢中にはなれない！　で、そういう意味で云うと僕はガンダムのニュータイプと云うか概念の方が、「地球へ…」のミュウって云う概念よりは、もっと包容力があってね。　曖昧な事はしてるけど曖昧としてる分だけいろんな呼び込み方が可能で非常に阿呆ないい方で言えば「勝れてるんじゃないか！」と人にも言った事がある。「ミュウよりはニュータイプの方がいいね。」って言ったんです！　それは信じない人間にもなんとなく付き合っていけるから……だから設定的に云うとミュウの方がSF的ですけどね！

——アムロが当初からニュータイプであると云う事を安彦さんは？

僕、知らなかった!!　富野さんは、そんな事説明してなかった！　今、ニュータイプとかなんとかって云うのは非常にマニアっぽい人達が議論してるのを聞くとなんかすごくそう云う観念に自分達がどうものめりこみ過ぎてるんじゃないかって云うね。　そうすると富野氏辺りが助長しちゃうんじゃないかなァと云う懸念があって此間話をしたんだけども　富野さん自身も「そうじゃない！」って云う。　それは各人各様にとってくれって云う事で………。だからニュータイプ信じられない奴は野暮であってガンダム見る資格はないとかそういう風な事は冗談じゃないです。　俺も信じちゃいない!!

——安彦さんはアニメは総合芸術だと思われますか？

芸術であるかないかは分からないけど、総合である事は確かだね。　さっきの手応えって事にこだわるんだけども、1つには総合性ですよね。　それから自分が持ってない、自分なんか逆立ちしても出てこないものを他のスタッフの人が出してくれてそれと自分のものがミックスになった場合とは本当に嬉しい訳ですね。　そう云う嬉しさってのは一人だけの作業とは絶対に有りっこないですね。　これは富野さんのいろんな持ち味みたいなものをガンダムで見てこれはもう俺が一人十役、二十役やったって絶対出てこないってことで　音楽とかね。　声優さんの問題、キャストの問題含めてやっぱりそう云う意味での総合性ってのは、得がたいんじゃないんですかね。

——コンVなんかのロボットは合体出来る様に各メカを描くんですか？　それとも各メカを描いて合体出来るように仕上げるんですか？

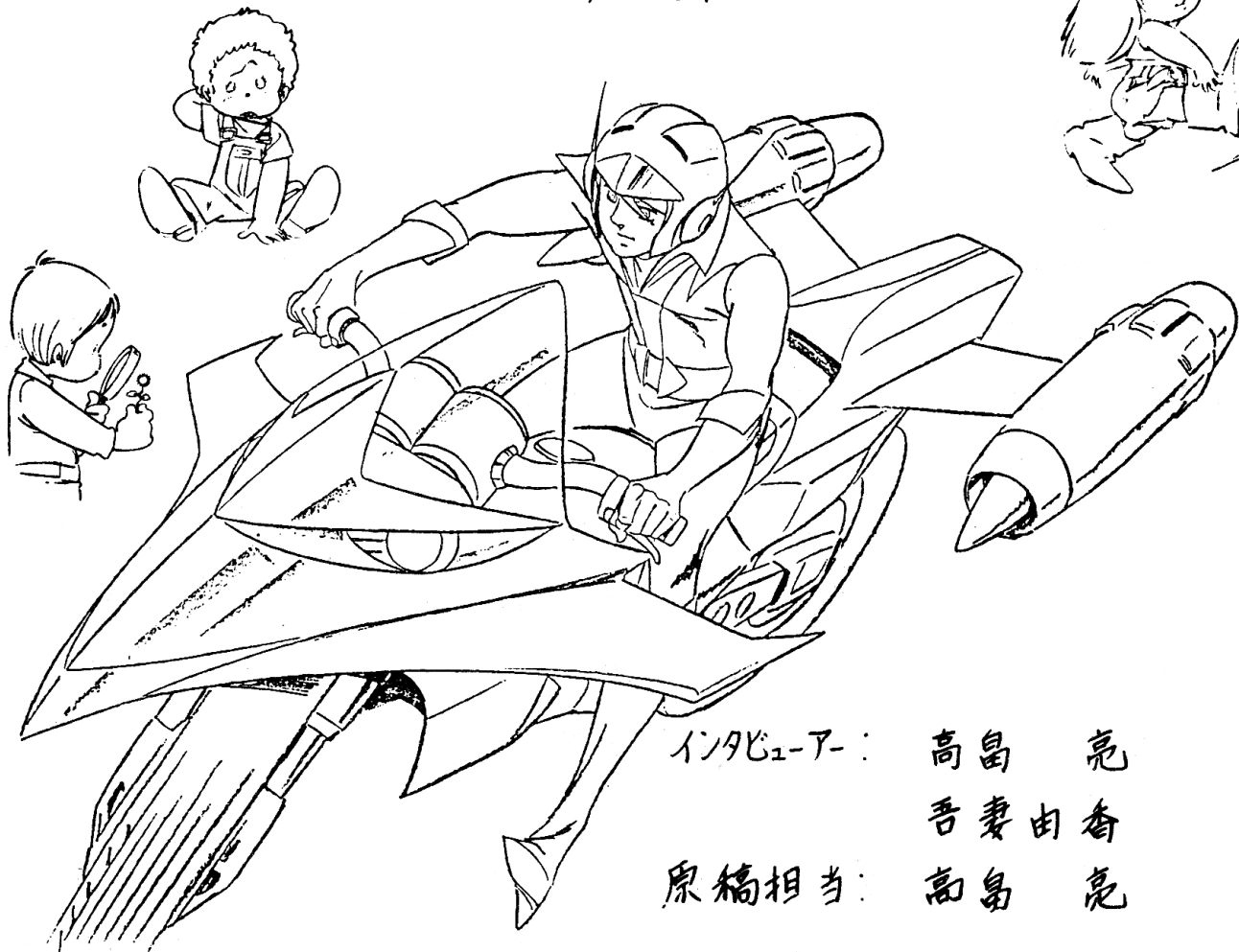
アレは～最初……どうなんだろう？　わかんないなァ？　両方じゃないですか。　アレの場合にはもう原型が出来てたからそれの整形手術をちょっとやっただけで……

――― 最後に今後の抱負を……

仕事ですか？

――― あまりお仕事お好きじゃないと聞いていますけど……

あの～、欲張りなんでしょうね。だからあまり一途に一つ事と決めこめなくて浮気っぽくてアレコレやったりして。だから全部何かの意味でプロセスの様な気がしてしょうがない。そうしたいという気があって　それと同じ事２回も３回もやりたくない！　その方はもうまるっきり無駄な様な気がするんですね。何かやったらそれをやっぱり梃子にしてもう一つ違うものを……って云う風な考え方をしていきたいし。　だから人から見たらきっと浮気っぽく見えるんじゃないかなァと　ずっと前から思ってるんだよね。　だけどなんか生意気な様だけど再生産にいく訳でしょ、いろんなものをね。　それをあの単純再生産でもいいやと思った時にはもう単純再生産すら出来なくなっちゃうんじゃないかっていう恐怖感があるのね。　だからやっぱり何かもうちょっとこう背伸びしていって初めて単純再生産程度の事がやっとやれるんじゃないかと云う……　だからあのやっぱりこの次の抱負と云うと「もっといいものをもうちょっと自分なりな……正直なものをやりたいなって」って云うのは漠然とだけどそう云う風に思ってる！

――― お忙しいでしょうからこの辺で、ありがとうございました!!!

インタビューアー：　高島　亮
　　　　　　　　　吾妻由香
原稿担当：　高島　亮

EPISODE

——サイン書いていただけますか？

名前だけでいいんですか？

——ええ、お名前だけでも結構ですから……

そうですか！（と、如何にも嬉しそうに）

ワ〜!! 色紙！ 色紙ィ〜!?（一転してたじろぐ安彦さん）

これは僕用じゃなくて色々……

——いえ！ 安彦さん用に!!

10枚〜!?

——書いていただけるだけで結構ですから……

これを見るとなんかむくむくっとしてしまう！

——富野さんも同じ様な事を仰ってましたが……

せめてこう1/4ぐらいになるとかないのかなァ！ この色紙って…… 本当、昔っからこのタイプなのかしらね。

ニュータイプが出来ないものかなァ？（爆笑） 富野さんサインした？

——ええ、整音で最終回録音の時に……今日は気分がいいからと……

いつ？

——1月の11日です。

ア、そんな前に、そうですか。 どうしようかなァ。 これに名前だけでいいんですか？ これに名前だけ書くなんてそんな横着なって気がしちゃう…… 本当になんか…… 下手な絵なぞを描いたら恥かしくって……

他に「サインと云うより署名だなァ」とか「こんな下手な字で10枚も書くのは耐えられない」とか云われながらも5枚に日付けとサインをいただきました。（2枚のアリオン・ポスターにも……）

——ありがとうございました。

え、左の男は誰かって？ 彼は「宇宙戦艦ヤマト2」#9話でガトランティスの捕虜メーザーを尋問した一応ヤマトの生活班員。名前を山田安彦さんといいます。因に作画担当班は、あの「スタジオZ」でした！

DEAR READERS

※「アニメージュ」の偉大？なる編集長、尾形さんを口説きおとしての押掛けインタビューにも拘らず、安彦さんにはお忙しい所 大変御迷惑をお掛けして誠に申し訳ございませんでした!!
ここに謹んでお礼申し上げます。　本当にありがとうございました!!!

高畠・吾妻

※ **CM** と云っては なんですが 少々……

文中にもあります様に徳間書店から安彦さんの小説が発売されました！
皆様、是非一冊御買入ください！

「シアトル喧嘩エレジー」　ハードカバー　￥980.

❖スペシャル・インタビュー 安彦良和 ❖　協力 徳間書店アニメージュ編集長 尾形英夫さん

表　紙……「機動戦士ガンダム」原画より「シャア・アズナブル」

裏表紙……安彦良和氏サイン　（使用許可は 9/3 15:30 TELにて）

発　行……アニメーション・ナイン
グループ・スペース

編　集……高畠　亮

責任者……〒960 福島市渡利字七社宮105.
高畠　亮
〒960 福島市野田町下江添11-4
吾妻由香

55.10.31　初版発行
56.1.31　2版発行

株式会社 松本印刷所

ANIMATION・KNIGHTS & GROUP・SPACE